



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

株式会社ロッテ
2025年5月8日(木)

ロッテ滋賀工場にカーポート型太陽光発電設備を新設 年間約300トンのCO₂排出量を削減！

株式会社ロッテ（代表取締役社長執行役員 中島英樹、以下 ロッテ）は、滋賀工場（滋賀県近江八幡市）の従業員駐車場の一部にカーポート型太陽光発電設備を新設し、2025年5月より稼働を開始しました。同設備で発電した電力は隣接する自社工場で使用し、年間約300トンのCO₂排出量の削減を見込んでいます。



ロッテ滋賀工場



今回設置したカーポート型太陽光発電設備

カーポート型太陽光発電設備は駐車場の上部空間のみを利用するため、駐車スペースを圧迫することなく発電ができるなど、土地の有効活用が可能になります。また、災害時等においても電力が利用できるため、事業の災害体制強化、地域のレジリエンス強化につなげることも期待されています。

■ ロッテ滋賀工場 カーポート型太陽光発電設備概要

- ・太陽光パネル：945枚
- ・総パネル面積：約2,500平方メートル
- ・発電容量：約450kW
- ・想定年間発電量：約700MWh
- ・想定年間CO₂排出量削減量：約300t-CO₂

ロッテでは、サステナビリティ目標「ロッテ ミライチャレンジ 2048」を掲げて、サステナビリティ経営を推進しています。その中で、2028年度までにエネルギー起源CO₂排出量（Scope * 1、2）を2019年度比で23%以上削減すること、さらに、2048年度までにカーボンニュートラル達成を目標に掲げており、達成に向けて省エネルギー活動と再生可能エネルギーの活用を推進しています。

サステナビリティ目標「ロッテ ミライチャレンジ 2048」

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/>

* GHGプロトコルに基づく排出量の算定範囲

Scope1：事業者自らによる直接排出

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3：サプライチェーンに関わるScope1、2以外の間接排出

